

付表 1

申請者番号	No.	(記入不要)
-------	-----	--------

つくばみらい市不妊治療費助成事業受診等証明書

下記の者については、特定不妊治療以外の治療法によって妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと思われるため、特定不妊治療を実施し、これに係る医療費を下記のとおり領収したことを証明します。

年 月 日

医療機関の名称及び所在地

主治医氏名



医療機関記入欄 (※主治医が記入してください)

(フリガナ) 受診者氏名	夫	()	妻	()
受診者生年月日		年 月 日		年 月 日
今回の治療方法	A B C D E F <small>該当する記号(注参照)に○をつけてください</small>		1 体外受精 2 顕微授精 <small>該当する番号に○をつけてください</small>	
妊娠の有無	有 ・ 無			
今回の治療期間	年 月 日 ~		年 月 日	
日本産婦人科学会 UMIN個人識別表登録の有無	有 → 症例登録番号 ※1			無
領収金額	〔今回の治療にかかった金額合計*保険適用外診療に限る〕 領収金額 円 (税込)			
備考 ※2				

※1 日本産婦人科学会UMIN個別調査票に登録した症例登録番号を転記してください。

※2 領収金額に、主治医の指示により主治医の属する医療機関以外の医療機関で行った治療費や、院外処方などで支払った費用を含めた金額が記載できない場合は、医療機関名や薬局名等を記載してください

注) 助成対象となる治療は次のいずれかに相当するものです

- A 新鮮胚移植を実施
- B 採卵から凍結胚移植に至る一連の治療を実施 (採卵・受精後、胚を凍結し、母体の健康状態を整えるために1~3周期の間隔をあけた後に胚移植を行うとの治療方針に基づく一連の治療を行った場合)
- C 以前に凍結した胚による胚移植を実施
- D 体調不良等により移植のめどが立たず治療終了
- E 受精できず、または、胚の分割停止、変性、多精子受精などの異常受精等による中止
- F 排卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止

*採卵に至らないケース (女性への侵襲的治療のないもの) は助成対象となりません。